

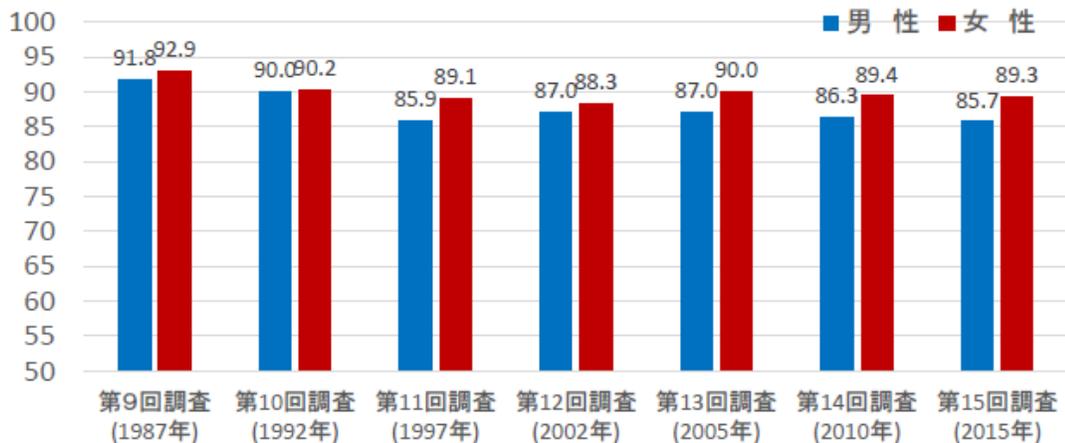
# 結婚・子育て等に関する意識

# 結婚に対する意識(全国)

- 未婚者のうち、8～9割はいずれ結婚するという希望を持っている。
- 若者が結婚しない理由は、
  - ・ 第1位：男性・適当な相手にめぐりあわない
  - ・ 第2位：男性・まだ必要を感じない
  - ・ 第3位：男性・結婚資金が足りない
  - ・ 第4位：男性・自由さや気楽さを失いたくない
  - 女性・適当な相手にめぐりあわない
  - 女性・自由さや気楽さを失いたくない
  - 女性・まだ必要を感じない
  - 女性・趣味や娯楽を楽しみたい

## 未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合

○未婚者(18歳～34歳)の結婚意思は、男女とも9割程度で推移

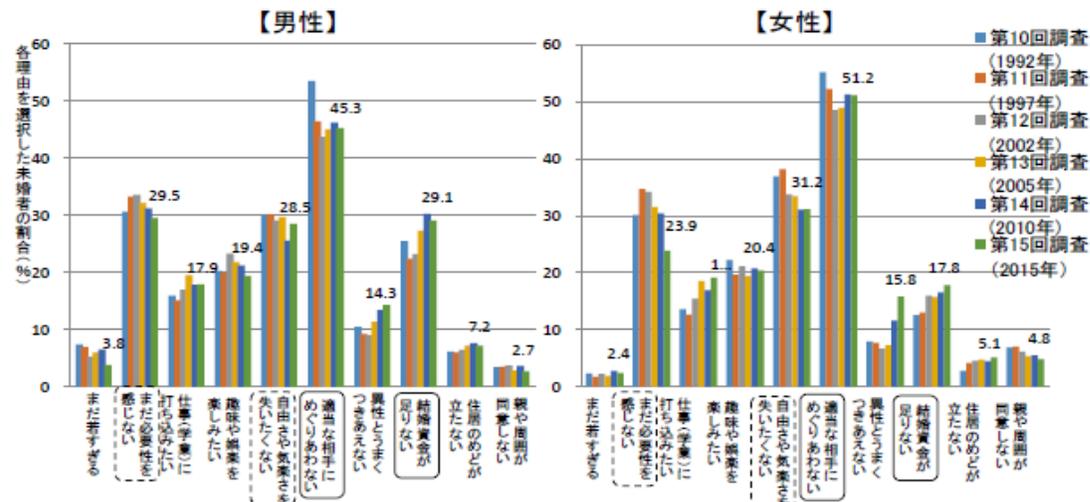


資料出所: 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

※18～34歳対象、設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか」  
(1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない)について、1を回答した割合

## 若者が結婚しない理由

- 25～34歳の未婚者に独身でいる理由を尋ねると、男女とも、「適当な相手にめぐりあわない」が最も多い。
- 次に、男性については、「まだ必要を感じない」「結婚資金が足りない」が多く、女性については、「自由さや気楽さを失いたくない」「まだ必要を感じない」が多い。

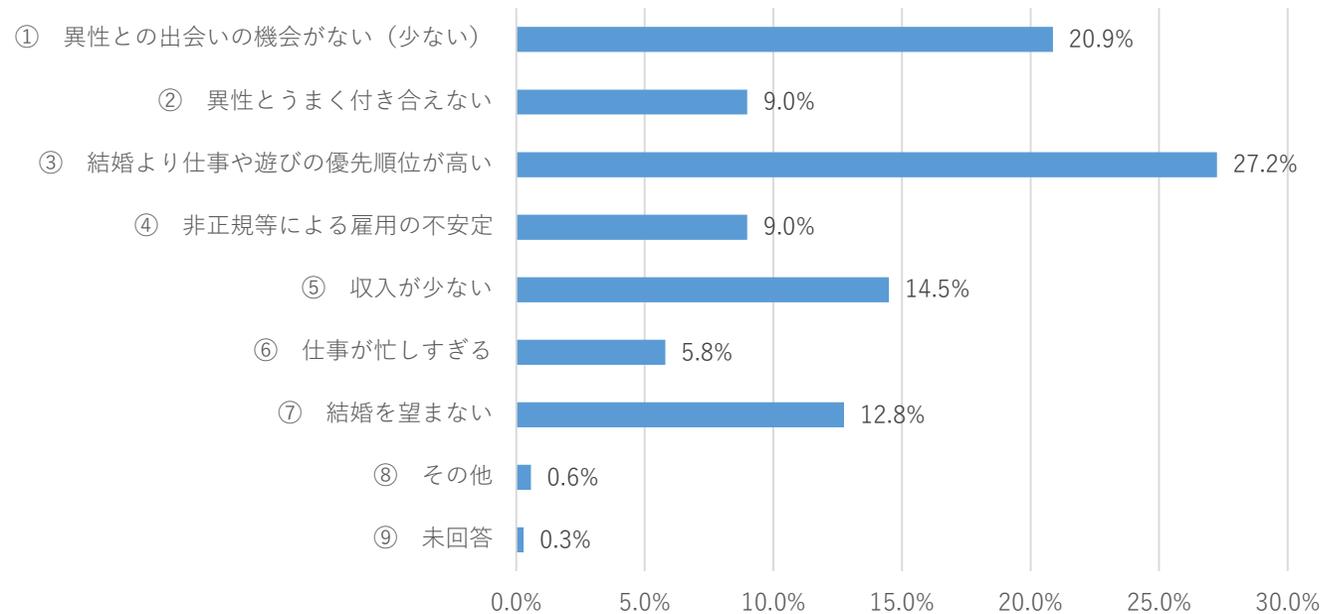


出典: 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(独身者調査)  
注: 対象は、25～34歳の未婚者。未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(3つまで選択可)としてあげているかを示す。グラフ上の数値は第15回調査の結果。

## 結婚に対する意識(徳島県)

- 未婚化・晩婚化が進む中、結婚しなかったり、結婚が遅くなる理由
  - ・1位：結婚より仕事や遊びの優先順位が高い
  - ・2位：異性との出会いの機会がない(少ない)
  - ・3位：収入が少ない
  - ・4位：結婚を望まない
  - ・5位：異性とうまく付き合えない
  - ・5位：非正規等による雇用の不安定

### 結婚しなかったり、結婚が遅くなる理由

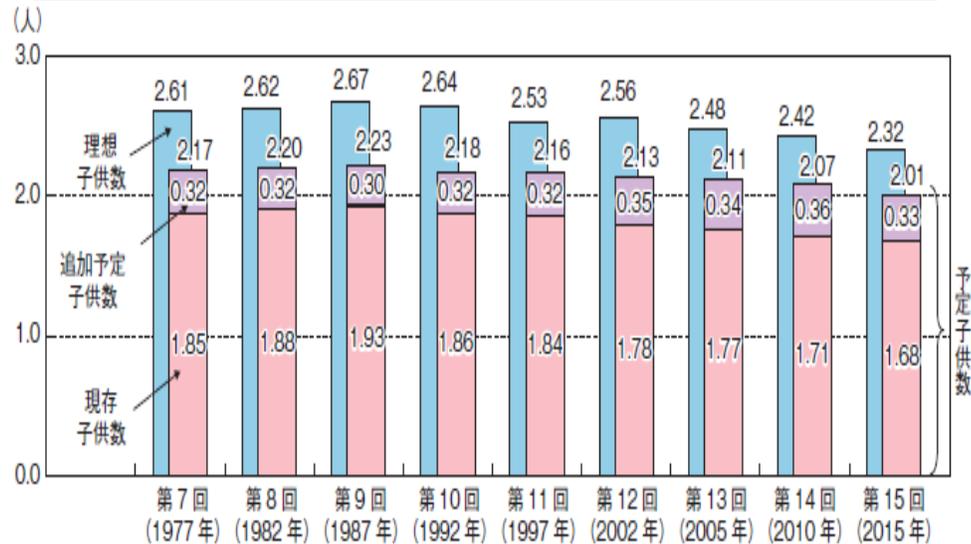


出典：「結婚・子育てに関するアンケート調査」R1.5実施

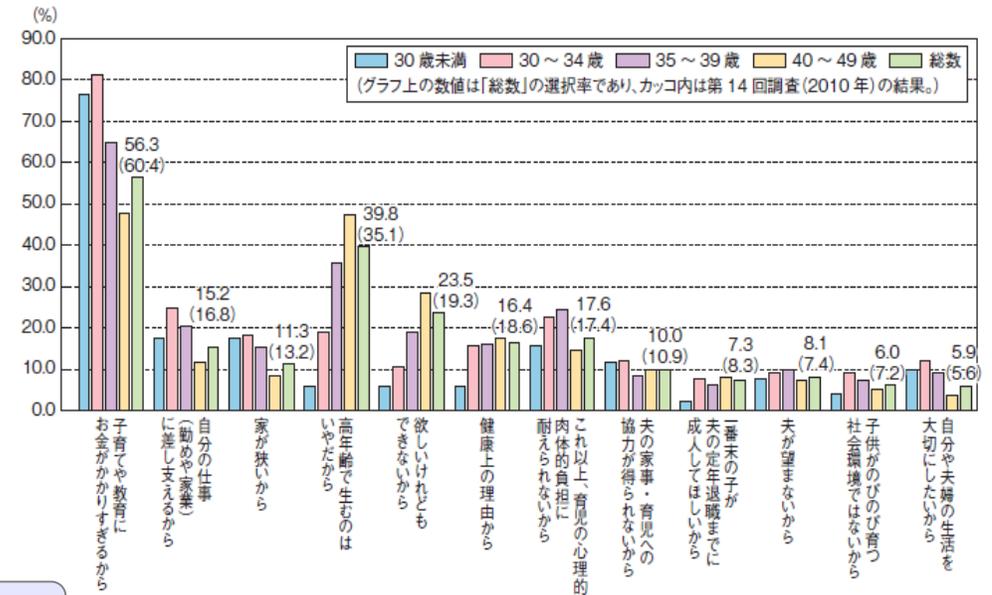
# 理想とする子ども数と、予定する子ども数(全国)

- 理想とする子供数に比べ、実際に予定する子供数が下回る調査結果がある。
- その理由は、
  - ・ 第1位：子育てや教育にお金がかかりすぎるから
  - ・ 第2位：高年齢で生むのはいやだから
  - ・ 第3位：欲しいけれどもできないから
  - ・ 第4位：これ以上育児の心理的、肉体的負担に耐えられない
  - ・ 第5位：健康上の理由から

平均理想子供数と平均予定子供数の推移



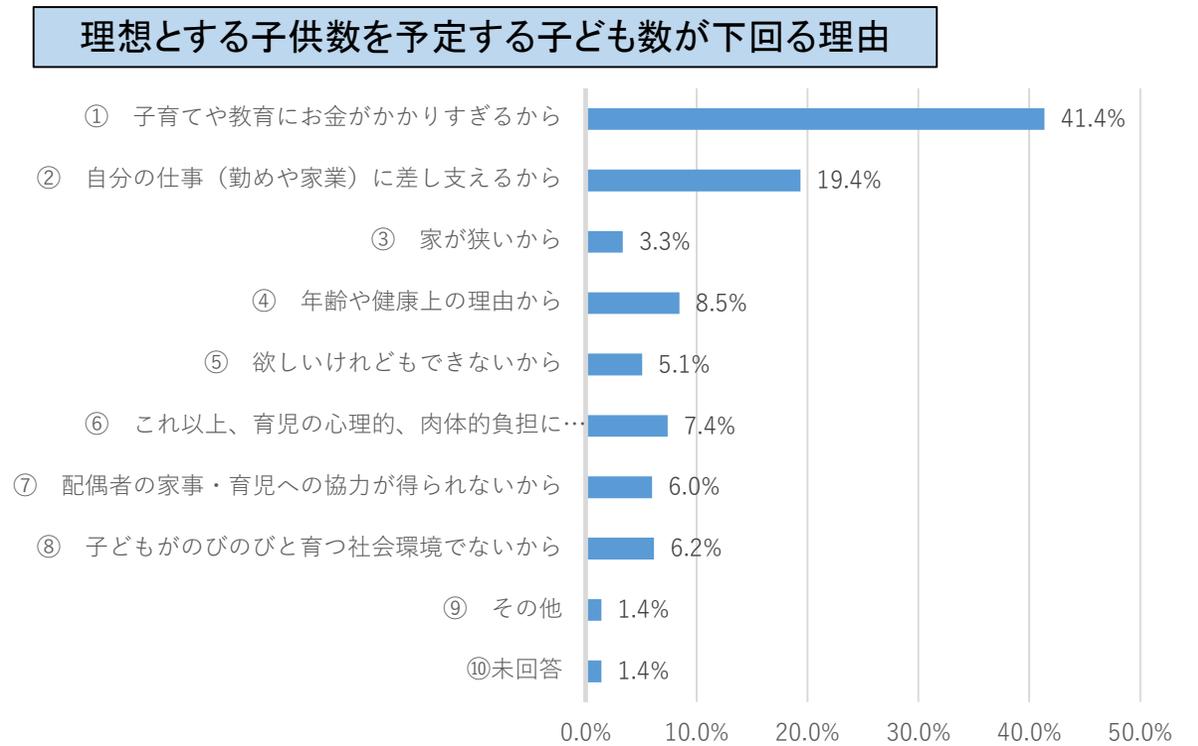
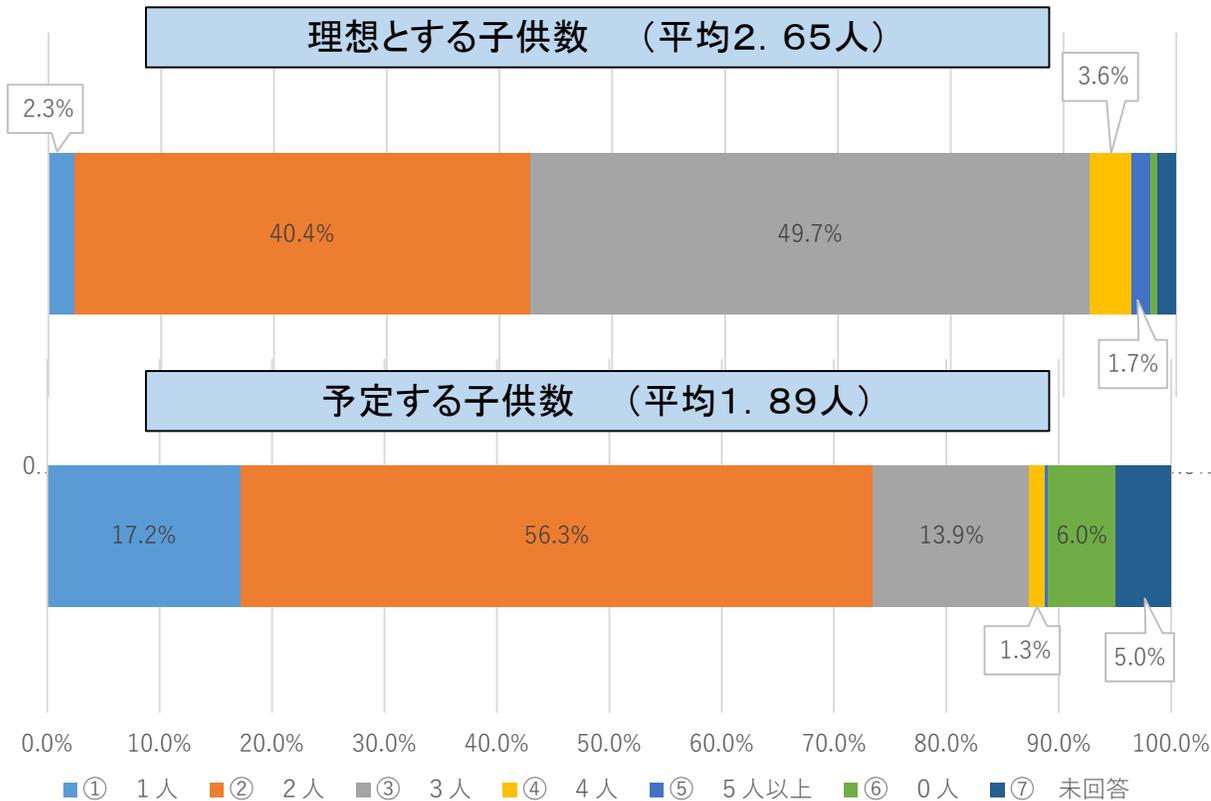
妻の年齢別にみた、理想の子供数を持たない理由



出典：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(2015年)」

# 理想とする子ども数と、予定する子ども数(徳島県)

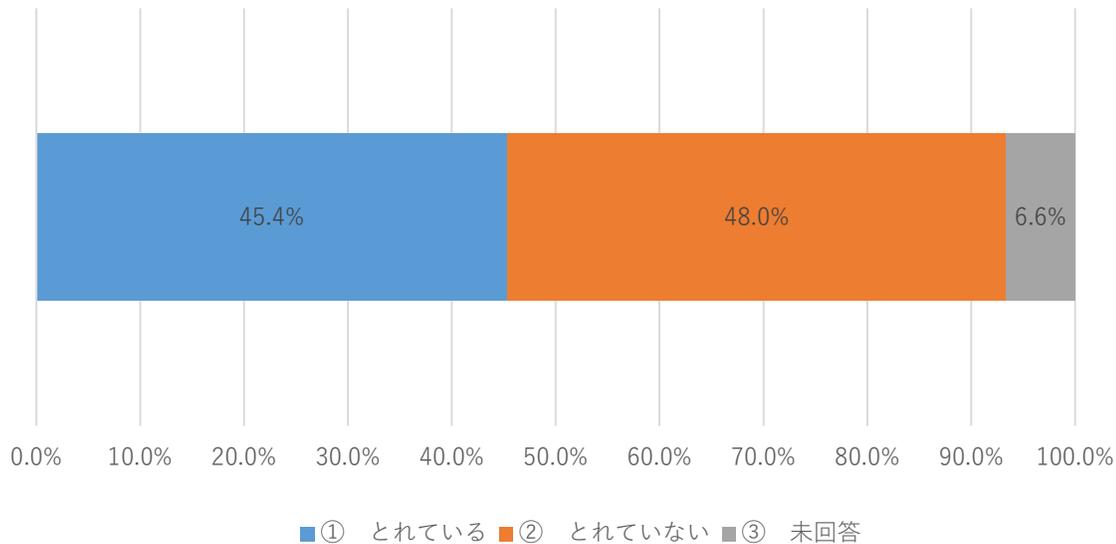
- 本県で、理想とする子供数は2.65人。 実際に予定する子供数は1.89人。
- 理想とする子ども数を、予定する子ども数が下回る理由
  - ・ 第1位：子育てや教育にお金がかかりすぎるから
  - ・ 第2位：自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
  - ・ 第3位：年齢や健康上の理由から
  - ・ 第4位：これ以上育児の心理的、肉体的負担に耐えられない
  - ・ 第5位：子どもがのびのびと育つ社会環境でないから



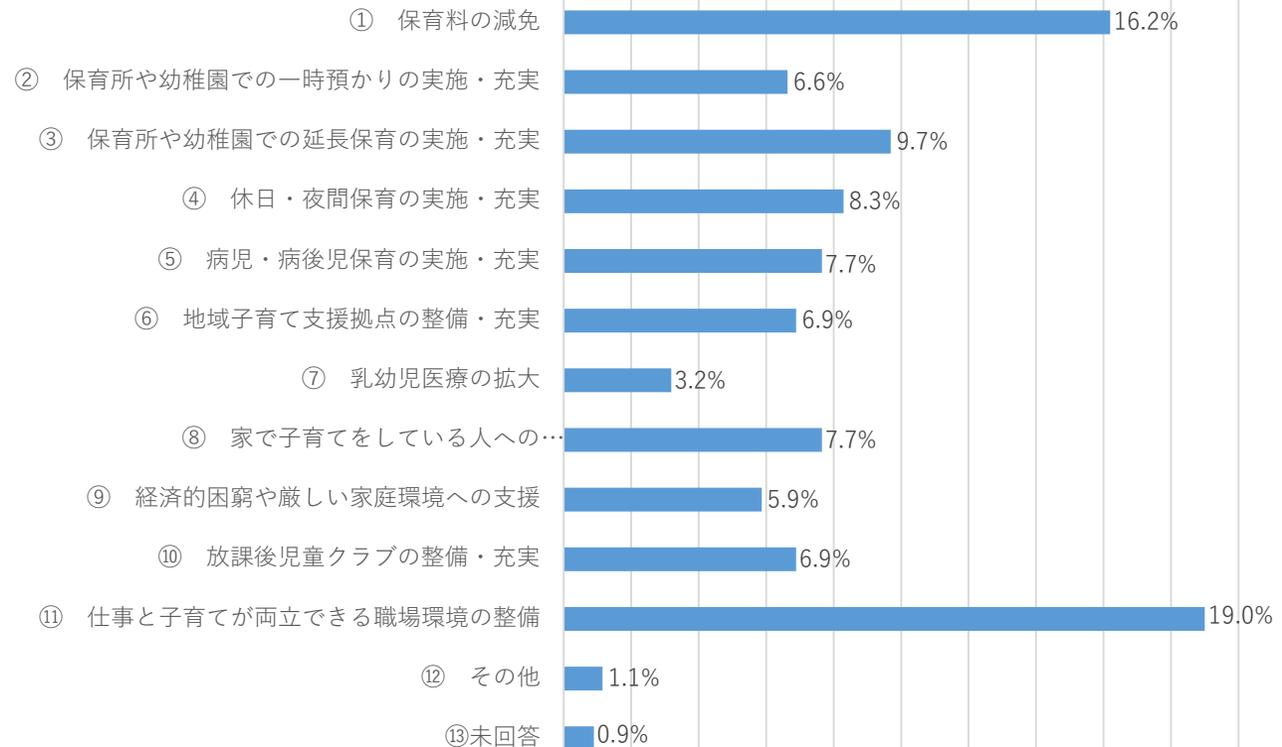
# 子どもとの時間、親の介護・自己実現の時間の確保 行政に望む子育て支援(徳島県)

- 子どもとの時間や親の介護、自己実現のための時間がとれているか
  - ・とれている 45.4%
  - ・とれていない 48.0%
- 行政に望む子育て支援策
  - ・第1位：仕事と子育てが両立できる職場環境の整備
  - ・第2位：保育料の減免
  - ・第3位：保育所や幼稚園での延長保育の実施・充実
  - ・第4位：休日・夜間保育の実施・充実
  - ・第5位：病児・病後児保育の実施・充実
  - ・第5位：家で子育てをしている人への支援、サービス充実

子どもとの時間や親の介護、自己実現のための時間が十分にとれているか



行政に望む子育て支援策



出典：「結婚・子育てに関するアンケート調査」R1.5実施